

宣言

吾等ハ眞面目ニ働キテ居ル。而モ吾等ハ常ニ生活ノ改善ヲ免シ得ナイ。吾等ハ働クコトヲ厭フモノテハナイ。只働クコトニ依リテ得ル利益ノ分配ヲ公平ニ爲シテ。ネバナラス。吾等ハ飽ク迄生産業ノ自治ヲ主張シ其ノ實現ヲ企図シ斯クテ大イニ働カシメヨ。吾等ヲシテ幸ニ福ナル新制度ヲ確立セヨ。

決議

吾等ハ飽迄健康着實ニ熱心ニ旦ク勇取ニ要求條件ノ貫徹ヲ期ス

大正十年六月三十日

電気工組合 電正會

(大正十年六月三十日)

(二) 日本労働総同盟友愛會金沢支部大會

七月一日金沢市西町公會堂ニ於テ首題大會開催。分衆約三百名。北村支部長開會ヲ宣シ直クニ宣言及決議ヲ綱要シ満場異議ナク可決。直クニ講演會ニ移リ鈴木文治、並村五三郎、外六名ノ講演アリ。散會後全支部主催鈴木會長ノ歓迎會アリ。

決議

我等ハ時局ニ鑑ミ益々團結ヲ鞏固シ規律アル民衆運動ニ資シ國家發展ノ障害者ヲ禁リ以テ國威ノ伸張ヲ期ス

(三) 労働組合同盟代議員會

七月二日午に区神樂坂町ノ神樂坂俱樂部ニ首題開催。會スル者皆明令下中弥三郎、信友會水沢辰外十四名「團結交渉権とは何